

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月17日

事業所名 おひさまキッズ(実施職員5名)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		障害や適性に合わせて環境整備を行っている。	清掃や環境整備の徹底をする。
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差はなく、扉は引き戸にしている。	靴を履くときなどの手すりの設置、玄関周りの整備。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝礼の時間で話し合いを行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年一回実施し、保護者の方にご協力を頂いている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年ホームページで公開している。	ホームページに公開していることを保護者にお知らせする。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、法人外研修は実施せず。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			不十分なところもあるため、更に保護者との話し合いを設け、サービス計画の向上を図る。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		アセスメントシートを作成するため、常に状況把握を行い、情報収集に努める。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		設定は行っているが、十分ではない。	更に細かく設定できるよう課題等の明確化を行う。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎の関係で当日は難しいが、翌日朝礼で振り返り・話し合いを行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援に関して毎日日誌に記入している。	個別で記録を取れるよう書式の作成を行う。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在該当者なし。	医療的ケアが必要な方が利用する場合、保護者を通じて医療機関等と連携を図り、看護師が対応・支援できるような体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		放課後等デイサービスでの状況を移行支援シート等に記録し、移行先に情報提供を行う。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		毎年参加はしているが、今年は感染防止のため、参加は見送っている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時に、保護者と常にやり取りができるようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者からの相談や話し合いのときなど、的確に助言できるように専門知識を取り入れておく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談を受けてもらえるよう体制を整えている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会の設置について検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、開催は難しい状況だった。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルの策定は行っている。	感染症に関しては状況が日々変化しているので、その都度保護者の方にお知らせする。また、職員への周知徹底を図る。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		数か月に1回、色々な状況での訓練、学園全体での訓練に参加している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人内で人権擁護推進委員会を設置し、人権侵害チェックリストを踏まえた自己検証や「人権侵害ゼロへの誓い」の署名、第三者委員による聞き取り調査などを行い、虐待防止に努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			